



CASSIOPEIA NKANI

Vol. 12 October 2022

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

JICA ルサカ郡1次レベル病院運営管理能力強化プロジェクト



左→右：プロジェクトチーフアドバイザーの法月正太郎 医師、保健省診療局長のDr. Alex Makupe、州保健局診療部長のDr. Sofia Msiska、プロジェクト 病院管理・感染管理専門家のニャンガ美知子、チパタ総合病院長のDr. Moses Mata

より良い
病院運営管理のため
各病院のバランススコ
アカードの共有と議論を
活発に行いました

塩田浩平 長期専門家が
プロジェクトの活動を開始
しました

フォトフォーカス
新たなプロジェクト アシス
タントがプロジェクトに加
わりました



より良い病院運営管理のため各病院のバランススコアカードの共有と議論を活発に行いました



ワークショップで議論するマテロ病院のDr. Liyuma院長

良い運営管理をしているか病院が否か、その違いは、『良く管理・運営されている病院』であるか、『患者ケアの質が損なわれ混沌としている病院』であるかどうかにあります。最高の病院となるためには、患者ケア、記録管理、在庫管理、清潔さなど、すべての面で整合がとれていなければなりません。あらゆる側面をカバーしなければなりません。これは、効率性と測定可能な目標設定を支援する計画立案と管理ツールの使用というプロセスを通じて可能になるものです。

バランススコアカード(BSC)の策定は、それぞれの地域で最高の医療サービスを提供すべきという病院の期待に応えるものです。各施設での一連のBSCミーティング(BSC策定)の後、プロジェクトはフィードバック・ミーティングを開催し、各病院がBSCの内容とBSCをどう中期支出枠組み(MTEF)に反映させたいか発表しました。さらに各施設は、各病院の組織図、意思決定構造、委員会規定などと共に、ビジョンを共有しました。

マテロ総合病院にとって、BSCの策定と使用は、3年前にも同様の演習を行っていることから新しいものではありませんでしたが、今回の会議では、Covid-19の大流行という世界の新しい環境を考慮した上で、そのBSCの内容を軌道に乗せ、チームが再戦略化する機会を得ました。プロジェクトチームに対して、マテロ病院の診療部長であるDr. Muyundaは、「この演習は、マテロ病院にとって非常に必要なものであり、明らかにあった課題を実践している最中である」と述べました。彼は、「マテロ病院はすでに戦略の実行を開始しており、毎月モニ

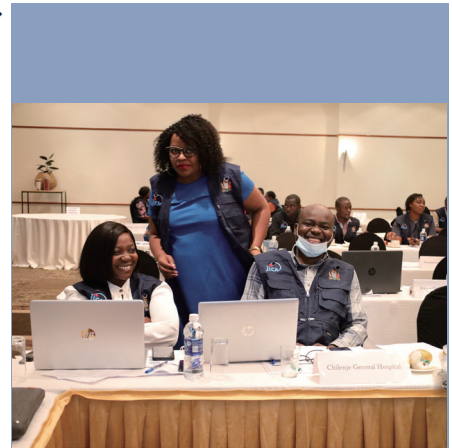
ターしていく予定である」と付け加えました。さらにDr. Muyundaは、「ルサカ州保健局と保健省に対し、特に検査室の支援とサポートが必要である」と述べました。

チャワマ病院とチレンジェ病院の院長は、マネジメントチームのメンバーが、このツールを効率的に管理し、継続性を確保することに賛同していることに喜びを感じていると述べました。

この2つの施設とカニヤマ病院は、ルサカ州保健局に対し、報告システムの改善と連携のために、報告体制を強化するよう訴えました。また、地方分権に関する提言も行われ、多様性はすべての病院が持っている強みであり、財務や構造の自由に関するいくつかの政策が承認されれば、意思決定においてより効率的になるであろうと述べました。チャワマ病院長であるDr. Chandaは、「これは、非常に簡単な追跡システムで、小さなステップの管理を容易にする、非常に客観的で優れたツールです」と述べました。チャワマ病院で行われた第1回目のBSC策定会合が終わるころには、チャワマ病院ではすでに毎週のモニタリングを行いつつ、戦略の実行を開始していました。BSCの継続性は、経営陣がオーナーシップを持っているかどうかにかかっています。

カニヤマ病院は、BSCが戦略的な視点を与えてくれ、病院経営のあらゆる面においてBSCが役立ってくれることに期待していると述べました。

最後に州保健局の診療部長であるDr. Msiskaが、各施設の努力と献身的な活動を継続するよう促し、フィードバックミーティングを終了しました。また、指摘された問題はすべて州保健局および保健省が検討するとのことでした。州保健局は、BSCツールに強い支持を示しました。



BSCフィードバックワークショップに参加したチレンジェ総合病院のスタッフたち



BSCフィードバックワークショップで話し合う保健省のDr. Makupeと法月チーフアドバイザー



BSCフィードバックミーティングで、マテロ総合病院のBSCの発表を行うマテロ総合病院のスタッフ



BSCフィードバックミーティングでグループワークを行うカニヤマ総合病院

塩田浩平 長期専門家がプロジェクトの活動を開始しました

JICA本部から新たに派遣された長期専門家、塩田浩平氏がプロジェクトに加わりました。塩田氏は、マラウイ、ナイジェリア、モルドバ、日本での豊富な知識と経験を生かし、医薬品と医療機材管理の専門家として活躍しています。Kaizen Institute of Zambia (KiZ)は現在、5つの総合病院でカイゼン活動を実施しており、塩田氏はこれらの活動やプロジェクトの成果である活動3「5つの病院すべてにおける医療機器と医薬品の供給と在庫管理」に関連する活動を統括します。



ルサカ市内にあるKaizen Institute Zambiaのオフィスにて、KiZチームと塩田浩平専門家



編集・デザイン: Mutuna Musonda & Ellen M. Chipilipili

編集長: 法月正太郎

連絡先

法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化
プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka, 10101,
ZAMBIA

E-mail: cassiopeia.project.zm@gmail.com

Website: <https://www.jica.go.jp/project/>

新しく採用されチームに加わった Ms. Rita Lungu (プロジェクト アシスタント)